

COP10、サイドイベント内容と記者会見概要

記者会見：日 時: 10月28日(木) 11:30～12:00

場 所: 名古屋国際会議場 3号館 3階 会議室

(説 明) 記者のみなさんを WAZA の「ターニング・ザ・タイド: 保全と持続性のための世界水族館戦略」の説明会に招待します。このイベントには、WAZA 会長マーク・ペニング、WAZA 事務局長ジェラルド・ディック、JAZA 会長山本 茂行が出席します。

サイドイベント：

日 時: 10月28日(木) 16:30～18:00

場 所: 名古屋国際会議場 2号館 1階 部屋番号212B

(説 明) WAZA 会長から、昨年制定した「世界水族館戦略」の概要説明を、日動水会長などからは国内の動物園・水族館で実施している生息域外保全を中心に概要発表をいたします。

- 世界動物園水族館協会 (WAZA) は、1300 もの先頭をいく動物園および水族館における原則、方針、実行、戦略を調和する世界的な組織です。WAZA は世界的動物園水族館コミュニティを統一する代表であり、動物福祉の高度な基準を保証し、動物園および水族館 (生息域外) および野生下 (生息域内) における保全を達成している IUCN、国家政府および NGO との協働を行っています。 www.waza.org
- 国際連合 (UN) の国連総会は、著しい生物多様性の低下割合を総括的に縮小する国際的な目標認識として、2010 年を国際生物多様性年 と宣言しました。WAZA は 2005 年からこの目標の達成を支援するための 国際自然保護連合 (IUCN) が先導する カウントダウン 2010 のサポーターをしてきました。加えて、WAZA は国際生物多様年をサポートする国連 生物多様性条約 (CBD) との協力協定を結んでいます。
- 生物多様性条約の第 8 条には、主要な「生息域内」保全ツールとして保護区の開発が挙げられています。第 9 条には、それに補足して、絶滅の危機に瀕した種を回復させ、生息地へ再導入させるための「生息域外」での手法が示されています。動物園および水族館は、遺伝子および野生下で失われた種の保管をする場所であり、現代の地球上の生命のノアの箱船とも言えます。短期、中期的に絶滅してしまう種が出続ける限り、動物園と水族館における生物多様性保全の緊急性はますます高まり、最終的な可能性である野生下への再導入には、動物園と水族館における機関における専門知識が必要です。
- 世界的に広がる地域住民主体の保全イニシアチブの一例として、フィリピンにおける「タツノオトシゴプロジェクト」への公共の水族館の強力な関わりが挙げられます。このプロジェクトはフィリピンの地域社会と共に実施されてきたものですが、他のどこでも、任意の保護海域を設定し、タツノオトシゴの捕獲を持続可能なレベルにすることで、公共の水族館コミュニティとの協働の元、海洋生物のために初めて国際的に管理されたプログラムを作ることができます。 www.projectseahorse.org

COP10 サイドイベントとその記者会見の様子

2010.10.28

記者会見



(全景) 100名超の大きな会場



(左)山本会長 (中)ディック専務理事 (右)ペニング会長

サイドイベント(下記注):16:30~18:00

場 所:名古屋国際会議場 2号館

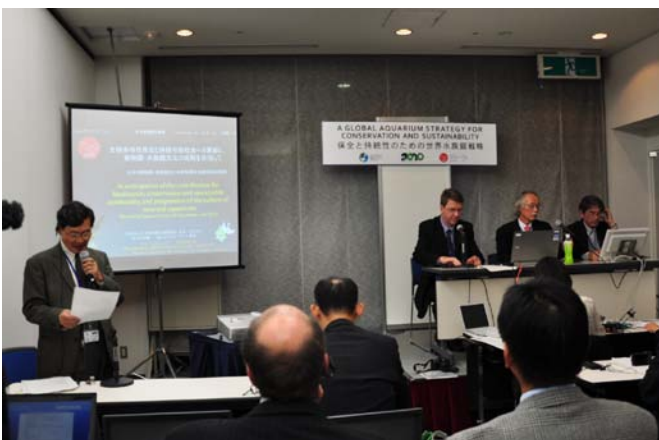
司会:長谷川種保存委員会事務局長



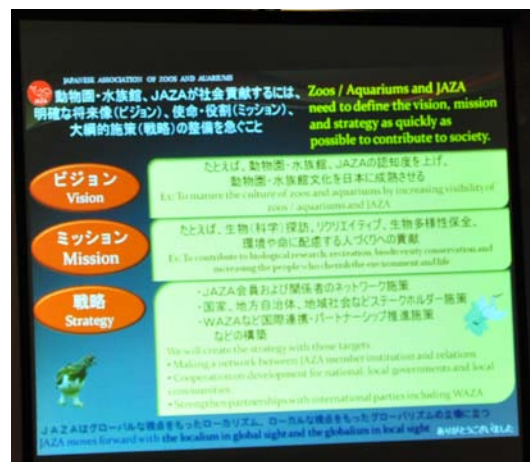
1.ペニング会長が世界水族館戦略を発表



ケータリング(事前に軽食を主催者側で用意)



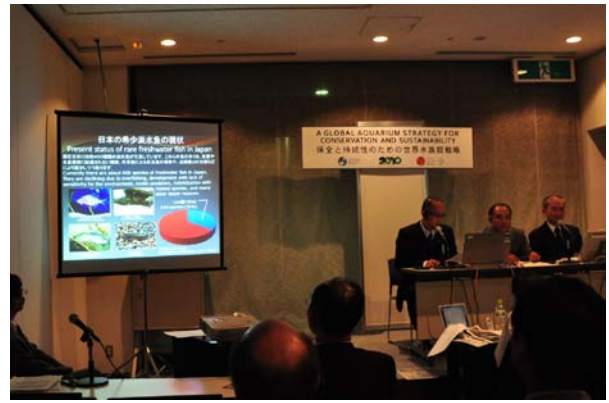
2.山本会長(園館と日動水の役割)



2.1 山本会長のまとめ



3.橋川氏(日動水保全戦略)



4.池谷氏(日本産淡水魚の保全)



5.桑原氏(両生類の域外保全)



6.成島氏(トキとコウノトリの域外保全)

注:サイドイベントとは

本会議場横の会議室で、昼・夕食時に開催されます。そのため、まず、主催者側がサンドイッチなどの軽食を用意し、本会議参加者、政府関係者、NGO、国際機関などに、集まっていただきます。内容は提案や解説、説明等で、それに対するディスカッションが中心となり、時間は約90分程度です。また、発表後、参加者から意見を聞いたり、アンケートを取ったり、ディスカッションをします。主催者はNGO、政府関係機関、国際機関などです。

A GLOBAL AQUARIUM STRATEGY FOR CONSERVATION AND SUSTAINABILITY

保全と持続性のための世界水族館戦略

Program プログラム

1. Global Aquarium Conservation Strategy

世界水族館保全戦略

Mark Penning, President, WAZA

マーク ペニング 世界動物園水族館協会 会長

2. In Anticipation of the Contribution for Biodiversity Conservation and Sustainable Community, and Progression of the Culture of Zoos and Aquariums - The Role of Japanese Zoos and Aquariums, and JAZA -

生物多様性保全と持続可能社会への貢献と、動物園・水族館文化の成熟を目指して

—日本の動物園・水族館と日本動物園水族館協会の役割—

Shigeyuki Yamamoto, Chair, JAZA

山本 茂行 日本動物園水族館協会 会長

3. Conservation Strategy for Zoos and Aquariums in Japan

日本動物園水族館保全戦略

Hisashi Hashikawa, Vice-Director, Nagoya Higashiyama Zoo

橋川 央 名古屋市東山動物園 副園長

4. Conservation of Endangered Japanese Freshwater Fishes in Zoos and Aquariums

動物園および水族館における絶滅に瀕する日本産淡水魚の保全

Koki Iketani, Section Manager, Gifu World Freshwater Aquarium

池谷 幸樹 岐阜県世界淡水魚園水族館アクア・トトぎふ 課長

5. The Ex-Situ Conservation for Amphibians

両生類の域外保全

Kazushi Kuwabara, Vice-Director, Hiroshima City Asa Zoological Park

桑原 一司 広島市安佐動物公園 副園長

6. JAZA and Ex-Situ Conservation for Japanese Crested Ibis and Oriental White Stork

トキとコウノトリの域外保全と日本動物園水族館協会

Etsuo Narushima, Director, Inokashira Park Zoo

成島 悦雄 井の頭自然文化園 園長